

製品安全データシート

作成 2006年4月26日
改訂 2012年2月1日

1. 製品及び会社情報

製品名 : サンケイダイアジノン乳剤40
会社名 : サンケイ化学株式会社
住所 : 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1-13-1
担当部門 : 開発部
電話番号 : 048-572-4171
FAX番号 : 048-572-4174
緊急連絡先 : 同上
整理番号 : B-64
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 :

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	急性毒性(経皮)	: 区分3
	急性毒性(吸入:ガス)	: 分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分外
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分2
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 :

危険

危険有害性情報 :

引火性液体及び蒸気

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有毒

発がんのおそれの疑い

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き 【安全対策】 :

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで、取り扱わないこと。

熱、火花、裸火など着火源から遠ざけること。禁煙

容器を密閉しておくこと。

容器及び受器を接地結合すること。アースを取ること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講じること。

火花を発生しない工具を使用すること。

指定された個人用の保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

- : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- : 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
- : 粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気の吸入を避けること。
- : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- : 環境への放出を避けること。
- 【救急措置】**
 - : 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣服等を全て脱ぎ、又は取り除き、
 - : 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 - : 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 - : 直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぎ、又は取り除くこと。
 - : 皮膚に付いた場合、多量の水と石けんで洗うこと。
 - : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 - : 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断、手当を受けること。
 - : 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯、又は汚染の除去をすること。
 - : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易
 - : に取り外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - : 眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当を受けること。
 - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - : 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
 - : 漏出物を回収すること。
- 【保管】**
 - : 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
 - : 施錠して保管すること。
- 【廃棄】**
 - : 内容物や容器を都道府県知事の許可を得た専門の産業廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成、成分情報

- 単一化学物質・混合物の区別 : 混合製品
- 化学名及び (有効成分) : (2-イソプロピル-4-メチル-リジル-6)-ジエチルホルソフェート 40.0%
- 含有量 (その他成分) : 有機溶剤、乳化剤等 60.0%
- 化学式又は構造式 : ダイゾノ … C₁₂H₂₁N₂O₃PS

成分	含有量	CAS. No.	PRTR 法	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
ダイゾノ	40.0%	333-41-5	1-248	5-923	9-343
POE ノニルフェニール	1.1%		1-410		
エチルベンゼン	25.0%	100-41-4	1-53	3-28	9-70
キシレン	26.0%	1330-20-7	1-80	3-3	9-136

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努め、異常が続く場合は速やかに医師の手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに石けんで良く洗い落とすこと。
作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
無理に吐き出させないで、直ちに医師の手当てを受けさせること。
ダイゾノの解毒剤としては硫酸アトピノ製剤及びPAM製剤が有効と報告されている。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 水を消火に用いてはならない。
- 火災時の特有の有害性 : 当該製品は [分子中にN, P, S] を含有しているため、燃焼ガスには有毒なガスが含まれる恐れがあるので消火作業の際には煙を吸入しないように注意すること。
- 特有の消火方法 : 速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺設備に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。

- 環境に対する注意事項 : 悪臭又は刺激性が強いので、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。
- 除去方法(回収、中和) : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
 : 漏出液が河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。
 : 少量の場合は、吸着剤(オガクズ・土・砂・ウエス等)に吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 : 大量の場合は、土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。
 : 水上に流出した非水溶性の製品は、吸収剤を使用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
 : 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
 : 屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
 : 取扱いの都度、容器を密閉する。
 : 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
 : 保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
 : 火気厳禁
- 局所排気・全体排気 :
 注意事項 : 該当なし
 安全取扱い注意事項 : 該当なし
 保管 適切な保管条件 : 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。
 安全な容器包装材料 : ポリフレン瓶、金属缶

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いの際はできるだけ密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。
 取扱場所の近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。
 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
- 暴露限界値 管理濃度 : キリン 50ppm
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ダイゾノ 0.1mg/m³(経皮)、キリン、エルペン 50ppm 217mg/m³(TWA)
 ACGIH ダイゾノ 0.01mg/m³(経皮)、キリン 100ppm (TWA), 150ppm (STEL)、
 エルペン 100ppm (TWA), 125ppm (STEL)
- 測定方法 : 情報なし
- 保護具 呼吸用保護具 : 吸収缶(有機ガスフィルタ付)付き防護マスク着用
 保護眼鏡 : 着用
 保護手袋 : 不浸透性手袋着用
 保護衣 : 不浸透性防除衣着用

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡赤褐色透明可乳化油状液体
 臭い : 特有臭
 pH : 5.0~7.0 (1%水溶液)
 融点・凝固点 : 情報なし
 沸点、初期点及び沸騰範囲 : データなし
 引火点 : 27.8℃
 発火点 : 情報なし
 燃焼性 : 情報なし
 燃焼又は爆発範囲 : 情報なし
 蒸気圧 : 情報なし
 密度・比重 : 0.97~0.99 (20℃)
 溶解度 : 情報なし
 オクタノール/水分配係数 : 情報なし
 分解温度 : 情報なし
 解離定数 : 情報なし
 粘度 : 情報なし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: ダイゾノ (1-249)、POE ニルフェエテル (1-410)、エチルベンゼン (1-53)、キシレン (1-80)
労働安全衛生法	: ダイゾノ (9-343)、エチルベンゼン (9-70)、キシレン (9-136)
毒劇物取締法	: 医薬用外劇物
消防法	: 第4類 第2石油類
化審法	: ダイゾノ (5-923)、エチルベンゼン (3-28)、キシレン (3-3)
船舶安全法	: 危規則第2, 3条危険物告示別表第1毒物類
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1毒物類
農薬取締法	: 登録番号 第10919号

16. その他の情報

引用文献	: 最新農薬データブック
	: 製品評価技術基盤機構のHP参照
	: MSDS

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。